

# 心に残る文化財子ども塾 出雲市立朝陽小学校

## 1. 活動の概要

9月12日（木）、出雲市立朝陽小学校で、6年生34名を対象に「心に残る文化財子ども塾」を実施しました。

はじめに、古代出雲歴史博物館職員が奈良時代の概要を説明し、出雲市内の遺跡の分布状況、奈良時代の小学校周辺の様子について、配布資料を用いながら解説しました。また、松江市の出雲国府跡で出土した須恵器に触れてもらい、奈良時代の人びとの暮らしを実感してもらいました。

次に奈良の大仏に関する説明をクイズ形式で行った後、大仏パネルの製作に取り掛かりました。開始直後はパネルの全体像がわからず戸惑っていましたが、みんなで声を掛け合って完成させることができました。完成後には、みんなでパネルに上がって大仏の大きさを体感してもらい、体育館のギャラリーから記念写真を撮りました。

## 2. 活動の様子





### 3. 活動を終えて

#### 1) 児童の皆さんから

- ・みんなで協力して大仏パネルを作ったことが楽しかった
- ・大仏の大きさがよくわかった。思ったより大きくてびっくりした。
- ・実物の土器を初めて触って、質感や重さを実感できた
- ・弥生時代の土器と大きさや形、色が違うことがわかった
- ・奈良時代の出雲の文化や生活の様子が知りたい
- ・土器の名前や使い方、作り方を知りたい
- ・古墳の形の意味や実際の大きさを調べてみたい
- ・戦国時代の出雲の武将や戦いの様子が知りたい

#### 2) 担任の先生から

- ・実際の土器を見たり触れたりできたことや、専門家の丁寧な説明を聞き、大仏の大きさを  
実感することができた
- ・授業でも資料集を見ながら説明しているが、実際にはどうやって大仏を作ったのか、専門  
家の詳しい説明・解説を聴いてみたい

#### 3) 古代出雲歴史博物館から

事前に担任の先生と打ち合わせを行い、内容や時間配分を検討し、当日は余裕をもって進行することができました。奈良時代の様子をできるだけ身近に感じてもらえるよう、小学校周辺の遺跡を紹介し、児童のみなさんに実際の出土品にも触れてもらいました。大仏パネルの組み立てでは、9月の体育館はまだ暑くて作業はたいへんでしたが、最後にはみんなで協力して完成させることができました。今回の体験学習が、学校周辺の歴史やどんな文化財があるのか考えてみるきっかけになればと思います。